



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 リスクモンスター株式会社

上場取引所 東

コード番号 3768 URL <http://www.riskmonster.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 太一

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長 (氏名) 吉田 麻紀

TEL 03-6214-0331

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,423	5.5	218	6.4	225	8.1	142	9.0
29年3月期第2四半期	1,349	4.2	205	48.5	209	31.8	130	37.9

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 200百万円 (25.6%) 29年3月期第2四半期 159百万円 (66.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	36.65	35.80
29年3月期第2四半期	33.18	32.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	5,251	4,301	80.7	1,080.35
29年3月期	5,269	4,226	79.1	1,059.87

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 4,238百万円 29年3月期 4,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	4.2	395	3.5	400	3.4	255	2.8	65.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	3,923,500 株	29年3月期	4,028,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	— 株	29年3月期	96,200 株
----------	-----	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	3,891,517 株	29年3月期2Q	3,943,500 株
----------	-------------	----------	-------------

※当社は、平成29年9月29日に全ての自己株式(105,000株、消却前の発行済株式総数に対する割合2.6%)を消却しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、海外景気や個人消費を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いています。しかしながら、人手不足による人件費上昇や中国経済の減速懸念などから、先行きに対する慎重姿勢は根強く、今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは、3ヶ年計画「第5次中期経営計画(2016～2018年度)」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・採用支援サービス「ReferMe(レファミー)」の取り扱いを開始(4月)
- ・名古屋営業所を移転(5月)
- ・譲渡制限付株式報酬制度の導入(5月)
- ・クラウド型勤怠管理サービス「J-MOTTO Web勤怠」提供開始(6月)
- ・格付ロジックを改定(6月)
- ・譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を実施(7月)
- ・海南紐康信息系统有限公司の株式取得手続完了(9月)
- ・将来の株式の希薄化懸念を払拭することを目的とし、全ての自己株式(105,000株、消却前の発行済株式総数に対する割合2.6%)を消却(9月)
- ・当第2四半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
 - 「離婚したくなる亭主の仕事」調査結果(4月)
 - 「世界に誇れる日本企業」調査結果(5月)
 - 「100年後も生き残ると思う日本企業」調査結果(6月)
 - 「大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング」調査結果(7月)
 - 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」調査結果(8月)
 - 「金持ち企業ランキング」調査結果(9月)
 - 「合コンしたいと思う企業ランキング」調査結果(9月)
- ・当第2四半期連結累計期間に発表したリスモン業界レポート
 - 「飲食料品卸売業」(4月)
 - 「不動産取引業」(5月)
 - 「鉄鋼業」(6月)
 - 「パルプ・紙・紙加工品製造業」(7月)
 - 「金属製品製造業」(8月)
 - 「設備工事業」(9月)

その結果、主力の与信管理サービス等が順調であり他セグメントにおいても堅調に推移したため、売上高は1,423,246千円(前年同期比105.5%)となりました。

利益につきましては、一部のセグメントにおいて先行投資が発生したものの、主力の与信管理サービス等の利益の増加が寄与し、営業利益は218,364千円(前年同期比106.4%)、経常利益は225,893千円(前年同期比108.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は142,609千円(前年同期比109.0%)となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		前年同期比 (%)
	売上高 (千円)	対売上比 (%)	売上高 (千円)	対売上比 (%)	
売上高(千円)	1,349,080	100.0	1,423,246	100.0	105.5
営業利益(千円)	205,167	15.2	218,364	15.3	106.4
経常利益(千円)	209,055	15.5	225,893	15.9	108.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	130,832	9.7	142,609	10.0	109.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

① セグメント別の業績について

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

ア) 与信管理サービス等について

当第2四半期連結累計期間の与信管理サービス等の売上高の合計は897,043千円（前年同期比106.0%）、セグメント利益は162,226千円（前年同期比116.0%）となりました。

利益率の高いASP・クラウドサービスが堅調に推移したことに加えコンサルティングサービスが好調だったため、与信管理サービス等全体では売上高が前年同期を上回りました。セグメント利益につきましても、売上高が増加したこと等により前年同期を上回りました。

与信管理サービス等の売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	前年同期比 (%)	
与信管理サービス等	ASP・クラウドサービス (千円) (注) 2	711,294	102.6	
	コンサルティングサービス	ポートフォリオサービス及びマーケティングサービス (千円)	144,823	118.9
		その他 (千円) (注) 3	40,925	133.3
		コンサルティングサービス売上高合計 (千円)	185,748	121.8
	与信管理サービス等売上高合計 (千円)	897,043	106.0	

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、約440万社の企業情報と企業の信用力を定量化した与信情報を、インターネット経由で提供するサービス
3. 「金融サービス」等を含むその他サービス

i) ASP・クラウドサービス

会員数が増加したことや、従量制サービスの利用が順調だったことに伴い、与信管理サービス等のASP・クラウドサービスの売上高は711,294千円（前年同期比102.6%）となりました。

与信管理サービス等の会員数の推移（累計）は、次のとおりであります。

回次	第16期	第17期	当第2四半期
決算年月	平成28年3月	平成29年3月	平成29年9月
会員数 (注)	5,223	5,541	5,683

(注) インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互提携を行う提携会員の合計

ii) コンサルティングサービス

ポートフォリオサービスの受注単価及び件数が増加したことに伴い、ポートフォリオサービス及びマーケティングサービスの売上高が144,823千円（前年同期比118.9%）と順調で、加えて、金融サービス等を含むその他の売上高が40,925千円（前年同期比133.3%）と順調に推移した結果、コンサルティングサービスの売上高の合計は185,748千円（前年同期比121.8%）となりました。

イ) ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)について

当第2四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)の売上高の合計は282,409千円(前年同期比101.6%)、セグメント利益は94,029千円(前年同期比97.6%)となりました。

売上高は前年同期を上回ったものの、新サービスのマーケティング費用が発生したため、セグメント利益は前年同期を下回りました。

ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)の売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前年同期比 (%)
ビジネスポータル サイト(グループ ウェアサービス 等)	A S P・クラウドサービス(千円)(注)2	258,365	101.8
	その他(千円)(注)3	24,043	99.9
	ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等) 売上高合計(千円)	282,409	101.6

(注)1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

- インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員向けサービス
- ホスティングサービス等を含むその他サービス

また、ビジネスポータルサイトの会員数及びユーザー数の推移(累計)は次のとおりであります。

回次	第16期	第17期	当第2四半期
決算年月	平成28年3月	平成29年3月	平成29年9月
会員数(ID数)	3,098	3,039	3,033
ユーザー数	127,122	127,915	128,204

(注)インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員及びユーザー数

ウ) BPOサービスについて

当第2四半期連結累計期間のデジタルデータ化サービス等を中心としたBPOサービスの売上高の合計は175,431千円(前年同期比103.7%)、セグメント損失は11,332千円(前年同期はセグメント利益4,136千円)となりました。

主力のデジタルデータ化等BPOサービスが堅調に推移したことに伴い、売上高は前年同期を上回ったものの、受注案件に関する初期の運用費用が発生したため、セグメント利益は前年同期を下回りました。

BPOサービスの売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前年同期比 (%)
BPOサービス (注)2	デジタルデータ化等BPOサービス(千円)	175,431	103.7

(注)1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

- ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)サービス

エ) その他サービスについて

当第2四半期連結累計期間のその他の売上高は144,645千円(前年同期比119.6%)、セグメント利益は8,869千円(前年同期比52.8%)となりました。

当第2四半期連結累計期間の教育関連事業は、定額制の社員研修サービス「サイバックスU n i v .」の会員数が1,658会員となり、売上高は堅調に推移しました。

また、利墨(上海) 商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する中国におけるグループウェアサービス等の会員数は546会員となりました。売上高につきましては、中国信用調書の利用が好調に推移しました。

セグメント利益につきましては、教育関連事業において、教育コンテンツの先行投資費用が発生したため、前年同期を下回りました。

その他のセグメントの売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前年同期比 (%)
その他	「教育関連事業」等を含むその他サービス(千円)	144,645	119.6

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

② 会員数について

当第2四半期連結会計期間末の会員数は、与信管理サービス等が5,683会員、ビジネスポータルサイトが3,033会員、その他会員が2,204会員、合計10,920会員となりました。会員数の推移(累計)を示すと、次のとおりであります。

回次	第14期	第15期	第16期	第17期	当第2 四半期
決算年月	平成26年 3月	平成27年 3月	平成28年 3月	平成29年 3月	平成29年 9月
与信管理サービス等(注) 1	4,820	5,055	5,223	5,541	5,683
ビジネスポータルサイト (グループウェアサービス等)(注) 2	3,330	3,191	3,098	3,039	3,033
その他(注) 3	1,615	1,847	2,084	2,258	2,204
会員数合計	9,765	10,093	10,405	10,838	10,920

(注) 1. インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互提携を行う提携会員の合計

2. インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員

3. 定額制の社員研修サービス「サイバックスU n i v .」または中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員

4. 会員数は当社に登録されているID数

なお、上記においては重複登録している会員が一部おります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ132,002千円減少し、2,438,226千円となりました。これは主に、法人税等の支払や自己株式の取得による支出に伴い現金及び預金が減少したことによるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ114,218千円増加し、2,813,130千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等によるものであります。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ17,784千円減少し、5,251,357千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ86,723千円減少し439,519千円となりました。これは主に未払法人税等やその他流動負債が減少したことによるものです。固定負債は5,950千円減少し510,713千円となりました。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ92,674千円減少し、950,233千円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加や投資有価証券の時価評価等により前連結会計年度と比べ74,890千円増加し、4,301,124千円となりました。また、自己資本比率は80.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期の業績見通しといたしましては、売上高2,800百万円（前連結会計年度比104.2%）、営業利益395百万円（前連結会計年度比103.5%）、経常利益400百万円（前連結会計年度比103.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益255百万円（前連結会計年度比102.8%）を予定しております。

業績予想に対する当第2四半期連結累計期間の進捗といたしましては、売上高は当初の予定どおり、利益は当初の予定を上回りました。

なお、現時点において通期の業績予想に変更はありませんが、今後の業績の動向により修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益
平成30年3月期予想	2,800	395	400	255
平成30年3月期第2四半期実績	1,423	218	225	142
進捗率（%）	50.8	55.3	56.5	55.9

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,031,470	1,826,908
受取手形及び売掛金	367,984	419,100
有価証券	99,999	99,999
原材料及び貯蔵品	15,349	13,030
その他	56,220	80,195
貸倒引当金	△795	△1,007
流動資産合計	2,570,229	2,438,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	544,407	548,183
減価償却累計額	△58,562	△70,148
建物及び構築物(純額)	485,845	478,035
工具、器具及び備品	517,849	514,378
減価償却累計額	△443,309	△435,649
工具、器具及び備品(純額)	74,539	78,728
土地	568,352	568,352
リース資産	4,860	4,860
減価償却累計額	△2,430	△2,835
リース資産(純額)	2,430	2,025
建設仮勘定	2,806	3,120
有形固定資産合計	1,133,973	1,130,261
無形固定資産		
ソフトウェア	541,683	565,275
その他	50,348	43,978
無形固定資産合計	592,031	609,253
投資その他の資産		
投資有価証券	939,414	1,030,197
その他	33,492	43,418
投資その他の資産合計	972,906	1,073,615
固定資産合計	2,698,912	2,813,130
資産合計	5,269,141	5,251,357

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	208,298	193,077
1年内返済予定の長期借入金	60,160	60,160
未払法人税等	115,479	77,367
賞与引当金	1,035	1,113
その他	141,270	107,800
流動負債合計	526,243	439,519
固定負債		
長期借入金	396,120	366,040
退職給付に係る負債	11,468	11,814
その他	109,076	132,859
固定負債合計	516,664	510,713
負債合計	1,042,908	950,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,155,993	1,155,993
資本剰余金	1,214,558	1,050,772
利益剰余金	1,625,535	1,717,025
自己株式	△90,038	—
株主資本合計	3,906,048	3,923,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249,931	302,196
為替換算調整勘定	11,749	12,756
その他の包括利益累計額合計	261,680	314,952
新株予約権	1,597	735
非支配株主持分	56,906	61,645
純資産合計	4,226,233	4,301,124
負債純資産合計	5,269,141	5,251,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,349,080	1,423,246
売上原価	584,988	629,586
売上総利益	764,091	793,659
販売費及び一般管理費	558,923	575,295
営業利益	205,167	218,364
営業外収益		
受取利息	712	575
受取配当金	3,933	4,572
投資事業組合運用益	416	6,247
その他	1,465	268
営業外収益合計	6,528	11,664
営業外費用		
支払利息	2,640	2,307
自己株式取得費用	—	988
為替差損	—	839
営業外費用合計	2,640	4,135
経常利益	209,055	225,893
特別損失		
固定資産除却損	12	4
事務所移転費用	—	344
特別損失合計	12	349
税金等調整前四半期純利益	209,042	225,544
法人税、住民税及び事業税	76,203	68,524
法人税等調整額	△2,547	10,034
法人税等合計	73,656	78,559
四半期純利益	135,386	146,985
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,553	4,375
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,832	142,609

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	135,386	146,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,807	52,310
為替換算調整勘定	△4,454	1,324
その他の包括利益合計	24,352	53,634
四半期包括利益	159,738	200,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,434	195,881
非支配株主に係る四半期包括利益	3,304	4,738

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	845,670	277,685	147,572	1,270,929	78,150	1,349,080	-	1,349,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	332	295	21,557	22,185	42,813	64,998	△64,998	-
計	846,003	277,981	169,130	1,293,114	120,964	1,414,078	△64,998	1,349,080
セグメント利益	139,817	96,371	4,136	240,325	16,789	257,114	△51,946	205,167

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおりま
す。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、
全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	895,652	282,042	153,859	1,331,554	91,692	1,423,246	-	1,423,246
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,391	366	21,571	23,329	52,953	76,282	△76,282	-
計	897,043	282,409	175,431	1,354,884	144,645	1,499,529	△76,282	1,423,246
セグメント利益又は 損失(△)	162,226	94,029	△11,332	244,923	8,869	253,793	△35,428	218,364

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおりま
す。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全
社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	334,299	151,278
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△121,876	△172,545
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△69,725	△183,691
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,061	375
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	139,636	△204,583
現金及び現金同等物の期首残高	1,892,544	2,030,367
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,032,180	1,825,784

前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<p>主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>※1 税金等調整前四半期純利益 209,042 減価償却費 143,639 売上債権の増加額 △53,857 法人税等の支払額 △25,822</p> <p>※2 有形固定資産の取得による支出 △12,342 無形固定資産の取得による支出 △111,062 投資有価証券の取得による支出 △24,590</p> <p>※3 配当金の支払額 △39,250 長期借入金の返済による支出 △30,080</p>	<p>主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>※1 税金等調整前四半期純利益 225,544 減価償却費 147,702 売上債権の増加額 △51,075 法人税等の支払額 △102,385</p> <p>※2 有形固定資産の取得による支出 △26,559 無形固定資産の取得による支出 △140,122 投資有価証券の取得による支出 △26,378</p> <p>※3 自己株式の取得による支出 △186,196 自己株式の処分による収入 83,922 配当金の支払額 △50,930 長期借入金の返済による支出 △30,080</p>